2025年７月２２日
丹波市立進修小学校
校長　松田　亜矢

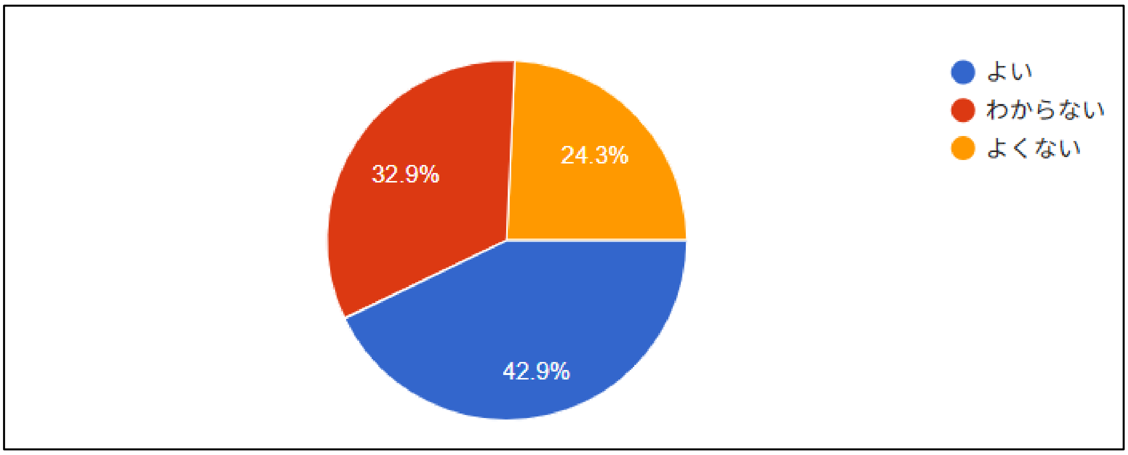
校長室だより

１学期　教科担任制とチーム担任制の振り返り

１学期の取り組みとして、学団ごとの教科担任制と、ゆるやかなチーム担任制を実施しました。
どの学年も4月は、１人の担任と学級づくりと関係づくりをしました。高学団は、５月の連休明けから、１週間ごとに担任を交代しました。担任交代といっても、授業の教科は変わらず、朝の会、給食、終わりの会で変わります。授業以外での子どもの様子を見ることができます。 中学団は、6月ごろから給食、終わりの会で交代しました。子どもの状況によっては、変わらない日もありました。低学団では、給食だけ入れ替わりました。学年の様子に応じて、担任団で話し合いながら入れ替わるタイミングを考えて進めてきました。
新しい取り組みなので、子どもにとってどうかということを最優先にしながら、教職員で対話を繰り返し納得のいくやり方で進めてきました。正解はありませんのでこれからも子どもたちと一緒に考えて誰もが安心して通える進修小学校にしていきたいです。
１学期に子ども（2年から６年）と教職員でとったアンケートの結果です。

○子どもたちの振り返り（2年生から6年生）
☆チーム担任制について

たんにんの　せんせいが　かわるのは　よいですか。



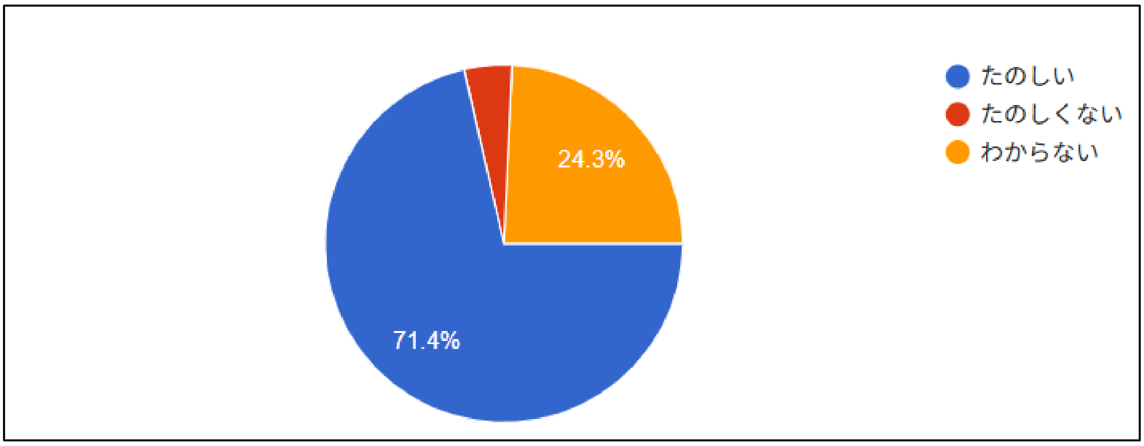
「よい」と答えた児童は24.3% 「わからない」32.9%、「よくない」24.3%でした。
理由としては
・いろいろ変わって生活が楽しい
・いろんな先生とかかわれるから
・いろんな先生を知りたいから
・同じ先生はあきるから

・担任の先生が代わるのが楽しいから
・「わからない」というより「どちらでもよい」です。
・担任の先生は一人でいいと思う
・少しごちゃごちゃしてしまうこともある

考えられることとして、低学年については、「担任が交代する」という意味が分からない児童が多かったように思います。また、代わることの不安より、先生が交代することを楽しんでいる児童もいて、多くの先生との関りを求めていることが分かりました。不安傾向の児童については、担任が交代してもつながりのある教師が声をかけることで安心して過ごせていました。

☆教科担任制について

いろいろな　せんせいと　べんきょうを　するのは　たのしいですか



「たのしい」が71.4%、「わからない」24.3%、「たのしくない」0.3%でした。
理由は
・いろんな教え方をしてくれるからおもしろいです。
・いろんな先生の性格があっていいから。
・勉強の仕方が変わるから。
・合う合わないがあるから
・嫌いな教科や好きな教科があるからわからない

教科担任制については、児童はいろいろな先生との授業を楽しんでいることが分かりました。低学年は、先生が代わると不安になるのではと心配していましたが、どの先生とも自然に関係性ができ、学習に向かえる状態になっていました。

○教師の振り返り

☆成果

教師視点

・国語、算数の入れ替わりで児童、教師とも時刻を守る意識が向上した。
・学級の課題について、共有し、相談することができる。
・児童の見立てや学習上の課題などの視点をもらえ、共有できる。
・給食指導や終わりの会などの入れ替わりで、児童教師共に気分が変わりひきずらない。自分自身の学級経営や児童との関係を見直すきっかけになった。
・代替授業を頼みやすい
・複数の目で児童観察することで見る視点が違うことの良さがあり、多面的に児童を見取ることもできる。

子ども視点

・子どもにとって、教科により様々なタイプの教師と学べるのが新鮮だったようだ。
・「今の担任」にこだわらずに、相談したり話したりできる児童がいる。
・不安傾向のある児童にとっては、多くの教師と関係性を築けるので拠り所がふえる。
・多くの先生に見てもらえてよいところも誉める機会が増える。

☆課題

・低学団については、学級の持つ課題が違うので、今以上の入れ替わりが難しいのではないか。
・担任交代という言葉に必要以上に引っ張られている気がする。
・メンタル面での不安が大きい児童にとっては、不安材料になっていることもある。
・一部の児童が教科によって授業を受ける態度が違うため担当の先生の負担になっている。

☆2学期の方向性

低学団

・今の状態を続ける

中学団

・担任交代を固定したり、強く出したりせず、柔軟な対応をしていく。当たり前に教室に入る。
・楽しむ時間をそれぞれの担任と作る。

高学団

・教科によっては基本 2 人体制にする
・担任交代は1週間ごとにする。

２学期も子どもたちにとってよりよい方法で、取り組み続けたいと思います。最上位目標は、子どもたちが自分たちで考えて行動できる「自律する力」をつけることです。担任や教科の先生が代わっても、自分たちで授業をつくる、学級をつくることを意識し、何かあったときも人のせいにしないで自分事として考え解決できるように私たちは、見守り支援し続けていきたいと思います。そして、子どもたちが毎日学校へ行きたいと思える学校づくりをしていきます。保護者の皆様にもご意見をお聞きしたいと思いますので、学校の様子や子どもたちの様子を見て、お気づきになられたことがありましたらいつでもご連絡下さい。